



I-05 商品分類マスター



ブランドマスターと商品分類マスターは親子関係となり、密接なつながりがあるため、このマニュアルを熟読の上、登録をお願いします。

=解説=



商品分類マスターの役割

画面は売上予算・実績画面と仕入予算・実績画面で構成されており、予算を管理しない場合はコードと分類名のみを登録します。商品分類マスターは商品に分類属性を与え仕分する役割があります。

一般的には全商品群を約10分類程度に分けて、各集計表で利用します。商品の括りは[ブランド]—商品分類—季節コード順ですが、ブランドマスターが運用されていない場合、画面には[ブランド]が表示されず、商品の括りは“商品分類”—季節コードとなります。

本書では、ブランドマスター運用 有の場合を想定しています。

登録手順1: No Brand コードで全商品分類を登録します。

登録手順2: ブランド毎に登録手順1でした商品分類マスターを登録します。

商品分類マスター メンテナンス (Win32 NT)

処理 (F) 画面印刷 (H)

登録 商品分類マスター メンテナンス 20年10月度

ブランド	No Brand	商品分類	555 toko
一般物品		商品大分類	000 ニット
ブランド選択		売上予算	仕入予算
		1月	0
		2月	0
		3月	0
		4月	0
		5月	0
		6月	0
		7月	0
		8月	0
		9月	0
		10月	0
		1月	0
		2月	0
		合計	0

売上予算 入力項目 仕入予算 入力項目

更新 (U) デフォルト (B) 中止 (S) 終了 (X)

基本モジュール



I-05-1 商品分類マスター [登録]処理

[登録]処理説明

ここでは商品分類の登録方法を説明します。

操作説明 (商品分類の新規登録)

1. 処理区分の選択

初期値は登録モードとなります。左上の[処理(F)]から[登録(A)]をマウスでクリック、またはアクセスキーを押します。



2. ブランドコードの選択 (※ブランド管理が導入されていない場合は[ブランド]は表示されません)

「No Brand」を選択します。

3. 商品分類コード・商品分類名の入力

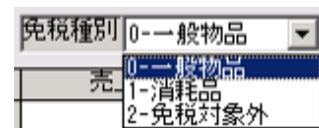
商品分類コードは英数字を左より3桁以内で入力します。

商品分類名は全角10桁以内で入力します。入力後、更新ボタンを押して登録することも可能です。

商品分類		
------	--	--

4. 免税種別の選択

免税の種別を「0-一般物品」「1-消耗品」「2-免税対象外」から選択します。



5. 商品大分類の指定

登録済みの商品大分類マスターの一覧から、割り当てたい大分類を選択します。

※商品大分類マスターの割り当て時は、ブランドを指定すると設定できません。

6. 売上情報を入力

期首～期末まで数値10桁以内で入力します。

(登録しなくても運用は可能です)

売上予算・値引・返品・粗利が入力できます。

(売上データは反映されません)

合計・純売上は自動で集計されます。

	売上予算	仕入予算
1月	0	0
2月	0	0
3月	0	0
4月	0	0
5月	0	0
6月	0	0
7月	0	0
8月	0	0
9月	0	0
10月	0	0
11月	0	0
12月	0	0
合計	0	0

7. 仕入情報を入力

期首～期末まで数値10桁以内で入力します。

(登録しなくても運用は可能です)

仕入予算・仕入・値引・返品が入力できます。

(仕入データは反映されません)

合計・純仕入は自動で集計されます。

基本モジュール



8. [更新]ボタン

入力したデータを登録します。

9. [デフォルト]ボタン

入力した分類名以降のデータを初期の状態に戻します。

10. [中止]ボタン

入力しているデータを破棄し、未入力の状態に戻します。

11. [終了]ボタン

ブランドマスターを終了します。

以上で一つの商品分類の登録は終了です。継続して追加登録する場合は、終了ボタンを押さずに、

「3. 商品分類コード・商品分類名の入力」より以降を繰り返し作業します。

基本モジュール

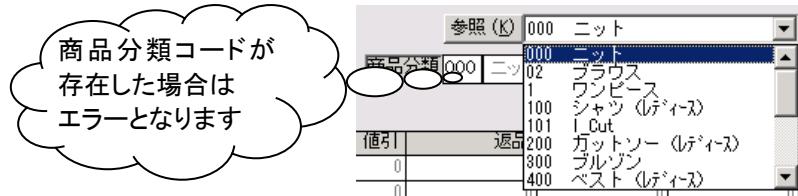


操作説明（商品分類のブランドへの割り当て）

12. ブランドの選択（※ブランド管理が導入されていない場合は[ブランド]は表示されません）
ブランドマスターで登録したブランドを選択します。

13. 商品分類の選択

登録済の英数字を左より3桁以内で入力するか、参照ボタンを押して表示されるリストから選択します。



14. 売上情報を入力

期首～期末まで数値10桁以内で入力します。（登録しなくても運用は可能です）
売上予算・値引・返品・粗利が入力できます。（売上データは反映されません）
合計・純売上は自動で集計されます。

15. 仕入情報を入力

期首～期末まで数値10桁以内で入力します。（登録しなくても運用は可能です）
仕入予算・仕入・値引・返品が入力できます。（仕入データは反映されません）
合計・純仕入は自動で集計されます。

16. **更新**ボタン

入力したデータを登録します。

17. **デフォルト**ボタン

入力した分類名以降のデータを初期の状態に戻します。

18. **中止**ボタン

入力しているデータを破棄し、未入力の状態に戻します。

19. **終了**ボタン

ブランドマスターを終了します。

以上で一つの商品分類のブランドへの割り当ては終了です。継続して割り当てる場合は、
終了ボタンを押さずに、「14. ブランドの選択」より以降を繰り返し作業します。



I-05-2 商品分類マスター [修正]処理

[修正]処理説明

ここでは商品分類の修正方法を説明します。

★ 商品分類コードは変更不可能です！！

操作説明

1. 処理区分の選択

初期値は登録モードとなります。左上の[処理(F)]から[修正(E)]をマウスでクリック、またはアクセスキーを押します。



2. ブランドコードの選択（※ブランド管理が導入されていない場合は[ブランド]は表示されません）

修正したい商品分類が属しているブランドを選択します。

「No Brand」を選択した場合のみ、「免税種別」と「商品大分類」の修正が可能となります。

3. 商品分類の選択

登録済の英数字を左より3桁以内で入力するか、
参照ボタンを押して表示されるリストから選択します。

その後、商品分類マスターの情報が表示されます。



4. 修正可能項目

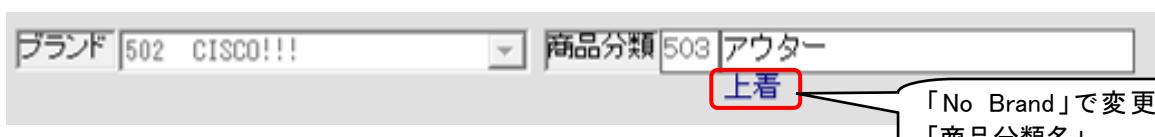
商品分類マスターの情報表示後、「商品分類名」「売上情報」「仕入情報」の内容が変更できます。

(ブランドで「No Brand」を選択した場合、「免税種別」と「商品大分類」の修正も可能となります)

修正する項目をマウスでクリックし入力、修正終了後に「更新」ボタンを押すことで修正が確定します。

※「No Brand」の「商品分類名」を変更しても、他のブランドに割り当てられているその商品分類名は

自動では変更されません。割り当てたブランドごとに変更する必要があります。その時、変更した商品分類名が欄外に表示されます。



5. [更新]ボタン

入力したデータを登録します。

6. [呼出時]ボタン

修正したデータを削除し、修正前に戻します。

7. [中止]ボタン

入力しているデータを破棄し、未入力の状態に戻します。

8. [終了]ボタン

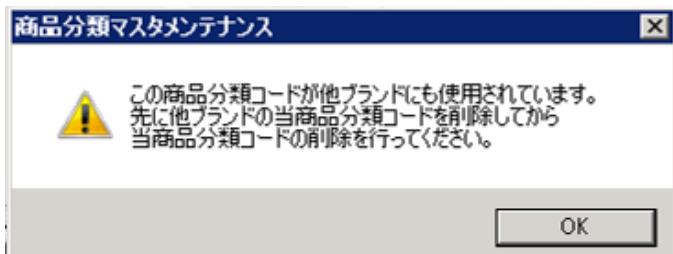
ブランドマスターを終了します。



I-05-3 商品分類マスター [削除]処理

[削除]処理説明

ここでは商品分類の修正方法を説明します。手順として、先にブランドに割り当てたすべての商品分類を削除し、その後に「No Brand」の商品分類を削除します。ブランドに割り当てた商品分類が残っている場合、以下のメッセージが表示され、削除できません。



一度削除したマスターを元に戻すことは不可能です

操作説明（ブランドに割り当てられた商品分類を削除する場合）

1. 処理区分の選択

初期値は登録モードとなります。左上の[処理(F)]から[削除(D)]をマウスでクリック、またはアクセスキーを押します。



2. ブランドコードの選択（※ブランド管理が導入されていない場合は[ブランド]は表示されません）

削除したい商品分類が属しているブランドを選択します。

3. 商品分類の選択

登録済の英数字を左より3桁以内で入力するか、参照ボタンを押して表示されるリストから選択します。

その後、商品分類マスターの情報が表示されます。



4. [更新]ボタン

表示された商品分類の削除を実行します。

5. [中止]ボタン

入力しているデータを破棄し、未入力の状態に戻します。

6. [終了]ボタン

ブランドマスターを終了します。

基本モジュール



操作説明（ブランドに割り当てられていない商品分類を削除する場合）

1. 処理区分の選択

初期値は登録モードとなります。左上の[処理(F)]から[削除(D)]をマウスでクリック、またはアクセキーを押します。



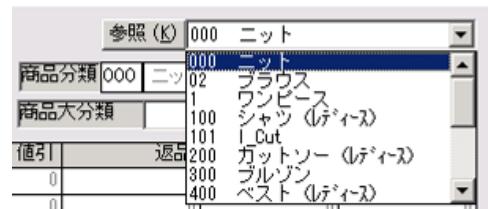
2. ブランドコードの選択（※ブランド管理が導入されていない場合は[ブランド]は表示されません）

「No Brand」を選択します。

3. 商品分類の選択

登録済の英数字を左より3桁以内で入力するか、
参照ボタンを押して表示されるリストから選択します。

その後、商品分類マスターの情報が表示されます。



4. [更新]ボタン

表示された商品分類の削除を実行します。

5. [中止]ボタン

入力しているデータを破棄し、未入力の状態に戻します。

6. [終了]ボタン

ブランドマスターを終了します。

基本モジュール



I-05-4 商品分類マスター [リスト]処理

[リスト]処理説明

登録されている商品分類を一覧で表示します。割り当てられた商品分類もブランドごとに表示されます。

操作説明

1. 処理区分の選択

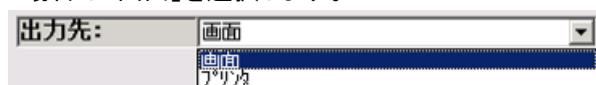
初期値は登録モードとなります。左上の[処理(F)]から[リスト(L)]をマウスでクリック、またはアクセスキーを押します。



2. 出力先の選択

画面上に表示する「画面」と、紙で印刷する「プリンタ」が選択できます。

PDFファイルで保存したい場合は「画面」を選択します。



3. 範囲の選択

抽出条件の開始と終了を範囲で指定します。

抽出条件として「ブランドコード」「大分類コード」「商品分類コード」が使用できます。

開始が空欄の場合、初めから。終了が空欄の場合、最後までが出力されます。

開始欄・終了欄ともに空欄の場合、全ての商品分類が出力されます。

範囲	ブランド	開始:	終了:
Code:		No Brand	800 No Brand
大分類			
Code:		未登録	未登録
商品分類			
Code:		未登録	未登録

4. 出力 (P) ボタン

リストを出力します。

5. 終了 (X) ボタン

ブランドマスターのリストを終了し、ブランドマスター画面に戻ります。

<画面出力>

画面上に出力した商品分類マスターのリストの上段にある各種機能は以下のとおりです。

- : 印刷ボタン。画面に表示されているリストを印刷します。
- : レポートのエクスポート。リストを PDF や Excel ファイルとしてエクスポートします。
- : ページの移動。最初や最後、前後や任意のページに移動できます。
- : テキストの検索。リスト内の文字を検索します。
- : 画面倍率の変更。▼から選択、または手入力で変更できます。
- : 印刷設定。プリンタなどを設定します。
- : リストを閉じます。商品分類マスターのリスト画面に戻ります。